

令和 7 年度

運営に関する計画



大阪市立横堤中学校

中間評価

令和 7 年 10 月

令和7度 大阪市立横堤中学校 学校運営の重点

社会とつながり、地域から信頼され、自立と協働の力を育む学校

—よりよい学びを創り出すカリキュラム・マネジメントを通して—

1 基本方針

- ・社会とのつながりを生かし、誰一人取り残さず、安全で安心して過ごせる学校をめざす。
- ・子ども最善の利益のもと、充実した教育活動を進め、地域から信頼される学校をめざす。
- ・社会的に自立しながら、課題の解決に向けて他者とともに協働する力を育む学校をめざす。

2 「自立と協働の力」を育む学校づくりをめざして

- ・人権尊重を基盤に、一人ひとりのキャリア発達を柱にした教育を深化・充実させる。
- ・「授業づくり・集団づくり・習慣づくり」を一体的に進め、それぞれの質を向上させる。
- ・保護者・家庭、地域、小学校、関係諸機関等と連携・協働した教育活動を進める。

3 成長し合える「つながり」をつくる

(1) 「見える化」による情報共有

積極的な情報発信を通して、オープンで、風通しがよく、働きやすい職場にする。

(2) 「凡事徹底」による行動連携

誰にでもできることを、誰にでもできないぐらいに続け、率先垂範で子どもを動かす。

(3) 「コミュニケーション」による目線合わせ

学校や学年、学級、教科、分掌等の方針を共有し、みんなで協力しながら達成する。

4 育みたい学校文化 —3つのC—

(1) 協働の学校文化〈Collaboration〉

学校の内外に、サポートし合う協働関係を築き、横堤のチーム力を進化・充実させる。

(2) 挑戦の学校文化〈Challenge〉

子どもを支え、伸ばし、鍛えるために、前例がないことにも積極的にチャレンジする。

(3) 創造の学校文化〈Create〉

個と集団の強みを生かし、相互に知恵を出し合いながら、価値のある実践を作り出す。

5 日常的な危機管理体制の構築

(1) 子どもの危機への対応

いじめ、不登校、SNSトラブル、虐待等への未然防止、早期発見、早期対応に努める。

(2) 大人・組織の危機への対応

ストレスマネジメント、コンプライアンス、ハラスメント等、危機の防止に努める。

(3) 社会の危機への対応

災害や感染症対策等に関係諸機関と連携した機動的な対応に努める。

大阪市立横堤中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和2年度から続いた新型コロナウイルス感染症拡大流行も一定の収まりをみせている。これからの未来を生き抜く子供たちを育てていくために、これまでの学校運営とコロナ禍での学校運営を整理した令和型の学校運営を進めていく必要がある。新たな価値観と豊かな発想力をいかして学びの方向性を定めながら、新しい学力観にたった教育の推進を図っていかなければならない。一方で、生徒たちは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による自粛や制限による不安やストレス、孤立感や孤独感を持つなどまだまだ心身において傷ついた生徒も多く、今後も身体的・精神的なケアを必要とする。

このような状況の中で、生徒たちはwith コロナの生活習慣に対応し、普段の授業、部活動、生徒会活動等をととても意欲的に、また一生懸命取り組む姿がみられた。修学旅行や体育大会等の学校行事も、従来の形にこだわらず、新たな取り組みを進めていくなど、積極的にみんなで協力し大きな成果を上げることができた。このことは、手間を惜しまず、生徒たちが安心して過ごせる環境を整え、一人ひとりきめ細かくケアし、リードし続けている教職員の努力の賜物である。

今年度も「大阪市教育局振興計画」に基づく教育活動の推進や、「教育情報学習者用端末等、ICTを効果的に活用した教育活動の推進」、「小中が連携した教育活動の深化・充実」等、様々な課題に挑戦していくことが求められる。ICTをツールとして活用し、「個別最適化された学び」が進められる一方で、人と人とが直接出会い、対話とコミュニケーションを重ねながら、「協働的な学び」を深めていくことがより一層重視される。カリキュラム・マネジメントを通して、質の高い教育活動を展開することを通して、自立的に考え、多様な他者と協働しながら問題や課題を解決する力、探究する力を育んでいきたいと考えている。また、自らの意思を発信する力の育成にも尽力し、「言語活動の充実」にも尽力していきたい。

本校の継続的な課題は、「不登校生徒の増加」である。隣接する横堤小学校と「一小一中」の関係にあり、固定化した人間関係もあるため、不登校生徒を生み出さないようにする困難さがある。

生徒・保護者との信頼関係を構築し、関係諸機関と連携する等を行い、「子供の声」を受け取り早期対応をおこなう。また、不登校生徒の未然防止に向けて取り組んでいきたい。

さらに、いじめの早期発見、早期対応についても、組織的に取り組んでいきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度までに生徒対象の校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思う」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を90%以上にする。
- 令和7年度までに生徒対象の校内調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思います」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が80%以上にする。
- 令和7年度末の不登校生徒の在籍比率を令和3年度(4.37)より低くする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が令和3年度(80.3%)より向上させる。
- 令和7年度までに生徒対象の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思います」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度まで、「中学生チャレンジテスト」における対府比を前年度よりあげていく。
- 令和7年度の「大阪市英語力調査」におけるC E F E A 1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。
- 令和7年度に生徒対象の校内調査において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の「全国体力、運動能力・運動習慣等調査」における体力合計点を全国平均以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度に「授業日において学習者用端末を使用した割合」を80%以上にする。
- 令和7年度にデジタル教材を活用した朝学習を週2回以上実施する。
- 令和7年度に生徒対象の校内調査において、「ICT 機器を利用した授業において自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。
- 令和7年度までに「ゆとりの日」を月1回以上設定し実施する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を83%以上にする。R6=82.5%
- 前年度不登校生徒の改善の割合を前年度(77.8%)より増加させる。

改善とは…

- ①出席日数の増(学校内外で ICT 等を活用した学習活動をするものの出席認定を含む)
- ②ICT の活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
- ③養護教諭、SC、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思う」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。R6=83.7%
- 校内調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思います」の項目について最も肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。R6=72.1%
- 全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について最も肯定的な回答をする生徒の割合を60%以上にする。R6=52.4%
- 校内調査において、「学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている」「学校は、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている」の項目について、最も肯定的な回答を、いずれも60%以上にする。R6=57.9%・56.7%
- 校内調査において「私は、学校生活において定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている」「学校は、生徒に、ルールや規則、マナーを進んで守るように指導している」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、いずれも70%以上にする。R6=65.7%・56.7%

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント 向上させる。
R5 2 年：【国語】 1.13 【数学】 1.17 ⇒⇒ R6 3 年：【国語】 1.16 【数学】 1.17
- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学校 3 年生の割合（4 技能）を 71%以上 にする。R6=65.1%
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きである」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 70%以上 にする。R6=男子 69.8%・女子 67.7%

学校園の年度目標

- 全国学力・学習状況調査の国語における思考・判断・表現に関する項目の平均正答率を前年度より 2 % 増加させる。R6=66.9%
- 校内調査において、「授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている（生徒対象）」「学校は、興味や関心が高まるような授業づくりに努めている（保護者対象）」の項目について、最も肯定的な回答の割合をいずれも 50% 以上にする。
- 「全国体力、運動能力・運動習慣等調査」における体力合計点を全国平均以上にする。
- 校内調査において、「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている（生徒対象）」「学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている（保護者対象）」の項目について、最も肯定的な回答の割合をいずれも 70% 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 90% 以上にする。（ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。

学校園の年度目標

- ゆとりの日を月に 1 回以上設定して実施する。
- 校内調査において、「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている（生徒対象）」「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている（保護者対象）」の項目について、最も肯定的な回答の割合をいずれも 50% 以上にする。

本年度の自己評価結果の総括

大阪市立横堤中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価 基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 全市共通目標 ●年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 81%以上にする。 R5=80.3% ●前年度不登校生徒の改善の割合を前年度(68.8%)より増加させる。 改善とは… ①出席日数の増(学校内外で ICT 等を活用した学習活動をするものの出席認定を含む) ②ICT の活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。 ③養護教諭、SC、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。 学校園の年度目標 ●校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思う」の項目について最も肯定的回答をする生徒の割合を 70%以上にする。 ●校内調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思います」の項目について最も肯定的回答をする生徒の割合が 80%以上にする。 ●全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について最も肯定的回答をする生徒の割合が 60%以上にする。 ●校内調査において、「学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている(生徒対象)」「学校は、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている(保護者対象)」の項目について、最も肯定的な回答を、いずれも 60%以上にする。 ●校内調査において「私は、学校生活において定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている(生徒対象)」「学校は、生徒に、ルールや規則、マナーを進んで守るように指導している(保護者対象)」の項目について、最も肯定的な回答の割合を、いずれも 70%以上にする。 ●校内調査において、「学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信している(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を 90%以上にする。 ●校内調査において、「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる(保護者対象)」の項目について、最も肯定的な回答の割合を 60%以上にする。	※

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【施策1 安全・安心な教育環境の実現】《生活指導部》 ○いじめ、不登校生徒へ組織的・計画的に対応する。普段から生徒の様子を観察し、特に気になる生徒に対しては、家庭と連携をとりながら情報を共有し、早期発見・早期対応に努める。また、関係諸機関との連携を深める。 指標 ●校内調査「学校は、雰囲気がよく、安心して充実した学校生活を送ることができている（生徒対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ●新たに不登校になった生徒数を昨年度（4名）より減少させる。	※
取組内容②【施策1 安全・安心な教育環境の実現】《生活指導部》 ○普段から生徒の悩みや相談等に丁寧に応じる。学期ごとに教育相談を行い、学校生活や友人関係、部活動等について、生徒の様子を把握し、情報共有を行う。 指標 ●校内調査「先生は、困ったことやわからないことがあると、相談にのってくれる（生徒対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 ●校内調査「学校は、保護者や生徒の求めに対して、積極的に相談に応じている（保護者対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	※
取組内容③【施策1 安全・安心な教育環境の実現】《生活指導部》 ○鶴見警察署等の外部機関を活用し、スマートフォン、インターネット、SNS等の使用に関する指導を行う。 指標 ●外部機関と連携し、情報モラルに関する指導を1回以上実施する。	A
取組内容④【施策1 安全・安心な教育環境の実現】《健康教育部》 ○清掃活動の推進と美化意識を養い、美化委員会活動で啓発する。また、地域・PTA活動と協力した地域美化活動を継続的に実施する。 ○地震・火災等の発生に備え、計画的に防災・減災教育を実施する。 指標 ●校内調査「私は、清掃活動、整理整頓をしっかりと行い、校内美化や学習環境の整理に努めている（生徒対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ●地域・PTA活動と協力した地域美化活動を、年1回以上実施する。 ●地震・火災等を想定した避難訓練を2回以上実施する。	※

取組内容⑤【施策2 豊かな心の育成】《人権教育委員会》 ○3年間を見通した計画的な人権教育を推進し、系統的な学びの実践ができるように人権学習の企画・実施を行う。 指標 ●各学年で計画した人権学習を2回以上実施する。 ●校内調査「私は、友だちを大切にし、ともに喜び、感動し、共感できるような関係づくりを行っている（生徒対象）」「私は、人に対して思いやりの気持ちを持ち、仲間と協力して行動している（生徒対象）」のそれぞれの項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	✖
取組内容⑥【施策2 豊かな心の育成】《教務部》 ○3年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育を推進する。キャリア教育の目標を明確にするとともに、体験的活動や進路指導等、生徒の発達段階に応じた指導内容を充実させる。地域資源や外部の人材を活用し、多様な人々から学ぶ機会を設ける。 指標 ●各学年で1回以上、キャリア教育を行う。 ●校内調査「学校では、職業や進路について学んだり、考えたりする機会がある（生徒対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 ●校内調査「学校は、将来の進路や職業について学ぶ機会を積極的に設けている（保護者対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	✖

年度目標の達成状況や取り組みの達成状況
①いじめ・不登校対策検討委員会を組織的な対応を構築した。基本、毎週金曜日に行っている。各学年の不登校生徒の現状や不登校気味の生徒に関する情報共有・対策をしている。 ②2学期始まりの1週間、教育相談を実施した。 ③5月26日にteamsと対人による情報モラル教室を実施、7月17日に非行防止教室を実施した。 ④日々の清掃活動では、監督教員の指導の下、生徒たちは丁寧に取り組んでいる。美化委員会では、校内の清掃活動としてモップがけを毎月1回実施している。防災・減災教育については、2，3学期に地震・津波避難訓練と火災避難訓練を実施する予定である。 ⑤1年生では5月にバウンダリーについての性教育を実施し、3学期に共生社会についての学習を実施予定である。2年生では来年1月以降に福祉に関する学習、3年生は11月に障がいについて考える学習を実施予定である。また全学年を対象にした平和学習を7月に実施し、8月には外部講師を招き、LGBTQについて全体講話を実施した。 ⑥1年生では12月にキャリア教育に関する授業、2年生では10月にキャリア教育に関する授業、11月に2年生職場体験を予定している。3年生では1年を通して進路学習を行い、7月に高校出前授業を実施した。

次年度への改題や改善点

大阪市立横堤中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価 基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標 ●中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.05 ポイント</u> 向上させる。 R6⇒2年：【国語】1.14【数学】1.17 3年：【国語】1.16【数学】1.17 ●大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合（4技能）を <u>71%以上</u>にする。R6=65.12% ●年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を <u>60%以上</u>にする。R6=男子 69.8%・女子 67.7% 学校園の年度目標 ●全国学力・学習状況調査の国語における思考・判断・表現に関する項目の平均正答率を前年度(66.9%)より2%増加させる。 ●校内調査において、「授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている(生徒対象)」「学校は、興味や関心が高まるような授業づくりに努めている(保護者対象)」の項目について、最も肯定的な回答の割合をいずれも50%以上にする。 ●「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における体力合計点を全国平均以上にする。 ●校内調査において、「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている」「学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている」の項目について、最も肯定的な回答の割合をいずれも70%以上にする。	※
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成 状況
取組内容① 【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】《教務部》 ○各教科で「シラバス(年間計画の概要)」を作成し、生徒や保護者に授業計画や評価方法等を示す。シラバスを活用して、学習目標や学習の見通しを持たせ、主体的に学ぶ態度を養う。 指標 ●校内調査「学校では、学力向上のためにいろいろと工夫した教育活動を行っている(生徒対象)」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 ●校内調査「学校は、家庭での学習習慣が定着するように、適切な指導を行っている(保護者対象)」の項目において、肯定的な回答の割合を80%以上にする。	※

取組内容②【施策 4 誰一人取り残さない学力の向上】《教務部》 ○生徒の読解力や言語能力を高めるとともに、読書習慣の定着を図るために、「朝の読書活動」に取り組む。 指標 ●全学年で、「朝の読書活動」を週 2 日以上実施する。 ●図書室の本の一人あたりの貸出総数を 3 冊以上にする。	✖
取組内容③【施策 5 健やかな体の育成】《健康教育部》 ○規則正しい生活として、時間の固定（起きる時間・寝る時間）を確立させる。生徒の保健委員会を活用し、啓発に努める。 指標 ●校内調査「私は規則正しい生活を心がけ、睡眠時間や学習時間をバランスよくとっている（生徒対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を 75%以上にする。	✖
取組内容④【施策 5 健やかな体の育成】《健康教育部》 ○「保健だより」や「朝ごはんウィーク」「ヘルシーウィーク」の取り組みを実施し、生徒の基本的な生活習慣を確立させる。生徒の保健委員会を活用し、啓発に努める。 指標 ●校内調査「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている（生徒対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。	✖
取組内容⑤【施策 4 誰一人取り残さない学力の向上】《教務部》 ○小中が連携した教育活動を推進する。教員が小学 6 年生を対象とした部活動体験（小中交流会）を実施する。 ○小中の全教員が集う「小中連携会議」を開催する。9 年間を見通した系統立てた教育を進めていくうえの成果や課題を共有し、小中連携をさらに深める。 指標 ●小中連携担当者会議を、学期に 1 回以上実施する。 ●全教員が集う「小中連携会議」を 1 回以上実施する。 ●小中合同の避難訓練を実施する。 ●小中交流会において、小学 6 年生対象の部活動体験を実施する。	✖

年度目標の達成状況や取り組みの達成状況
①校内調査後に評価を行う。 ②各学年で「朝の読書活動」を週 2 日以上実施している。一人あたりの貸出総数は 7 月末時点で 2.2 冊である。年度末までに指標をこえる見込みとなっており、進捗としては順調である。 ③保健委員会では、ポスターを使って健康に過ごすための呼びかけを行っている。3 学期に、ヘルシーウィークを通して、整った生活リズムを定着させる。 ④保健だよりや食育だよりを月 1 回以上発行し、食生活の重要性を伝えている。2 学期に実施する保健委員会活動の朝ごはんウィークで朝食に対する意識向上を図る。 ⑤1 学期は小中連携担当者会議と小中教職員による全体研修を実施した。2 学期は全教員が集う小中連携会議、小学 6 年生・保護者対象の部活動見学と小中合同の避難訓練を実施予定である。3 学期は小学 6 年生対象の部活動体験を実施予定である。

次年度への改題や改善点

大阪市立横堤中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価 基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【学びを支える教育環境の充実】 <u>全市共通目標</u> ●授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。(ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) ●年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。 <u>学校園の年度目標</u> ●ゆとりの日を月に1回以上設定して実施する。 ●校内調査において、「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」の項目について、最も肯定的な回答の割合をいずれも50%以上にする。	※
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成 状況
<u>取組内容①【施策6 教育DXの推進】《教務部》</u> ○ICT 機器等を活用し、生徒が互いに学び合う協働的な学びや思考力・判断力・表現力を育成する言語活動を充実させる。授業の質を向上させ、「自分で考え判断する力」「自分の考えを豊かに伝える力」「ICT 機器を活用する力」を備えた21世紀をたくましく生き抜く生徒を育成する。 <u>指標</u> ●校内調査「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する機会が設けられている(生徒対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ●校内調査「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する機会が設けられている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。	※

取組内容②【施策6 教育DXの推進】《教務部》 ○カリキュラム・マネジメントや授業改善、配慮を要する生徒への理解、事務関係等、テーマを決めた研修会を実施する。 指標 ●全教員が参加する研修会を、年3回以上実施する。	※
取組内容③【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】《教務部》 ○組織的な業務の効率化を図り、教職員がチームとなり学校運営を行う。役割を細分化して働き方改革を進める。 指標 ●「ゆとりの日」を月1回以上設定し、長時間勤務の解消を行う。	※
取組内容④【施策9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】《教務部》 ○地域と連携した教育活動を行う。横堤校区の地域行事や地域有能人材、教育資源等を結び付けた学年の取り組みを実施する。 指標 ●校内調査「学校は地域とのつながりを大切にし、地域と連携した取り組み等を積極的に実施している(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。	※

年度目標の達成状況や取り組みの達成状況
①校内調査後に評価を行う。 ②4月に性教育研修、7月に校内研究授業後の研究協議、小中教職員合同の研修会、救急救命講習会とインクルーシブ研修を実施した。校内研究授業後の研究協議については、9月と1月にも実施予定である。また、2学期には小中の教員による小中連携会議を実施予定である。 ③「ゆとりの日」を月1回以上設定している。 「働き方改革PJ」を発足し、次年度に向けての取組を整理している。 ④校内調査後に評価を行う。
次年度への改題や改善点

〈資料〉 令和7年度 学校評価アンケート

【生徒対象】

1. 学校は、雰囲気がよく、安心で、充実した学校生活を送ることができている。
2. 学校では、学力向上のためにいろいろと工夫した教育活動を行っている。
3. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
4. 私は、学校に行くのは楽しいと思う。
5. 学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている。
6. 授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている。
7. 私は、授業で出される宿題や予習・復習など、自主的な学習に積極的に取り組んでいる。
8. 私は、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
9. 学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている。
10. 先生は、困ったことやわからないことがあると、相談にのってくれる。
11. 私は、学校生活において、定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている。
12. 私は、学校行事や部活動、委員会活動、係活動などに積極的に参加している。
13. 私は、友だちを大切にし、ともに喜び、感動し、共感できるような関係づくりを行っている。
14. 私は、ふだん、挨拶することや時間を守ること、服装を正すことができている。
15. 私は、人に対して思いやりの気持ちを持ち、仲間と協力して行動している。
16. 私は、人の役に立つ人間になりたいと思います。
17. 学校では、職業や進路について学んだり、考えたりする機会がある。
18. 私は、規則正しい生活を心がけ、睡眠時間や学習時間をバランスよくとっている。
19. 私は、清掃活動・整理整頓をしっかりと行い、校内美化や学習環境の整備に努めている。
20. 学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている。
21. 私は、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである。
22. 私は、横堤中学校に入学してよかったと思う。

【保護者対象】

1. 生徒は、楽しく、充実した学校生活を過ごしている。
2. 学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信している。
3. 学校は、家庭での学習習慣が定着するように、適切な指導を行っている。
4. 学校は、話を聞く力や正しい言葉づかいで話すような指導を行っている。
5. 学校は、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている。
6. 学校は、興味や関心が高まるような授業づくりに努めている。
7. 生徒は、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
8. 学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている。
9. 学校は、保護者や生徒の求めに対して、積極的に相談に応じている。
10. 学校は、生徒に、ルールや規則、マナーを進んで守るように指導している。
11. 生徒は、学校行事や部活動、生徒会・委員会活動などに積極的に参加している。
12. 学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる。
13. 学校は、生徒に、挨拶することや時間を守ること、服装を正すように指導している。
14. 学校は、生徒に人権を尊重する意識や態度を育てようとしている。
15. 学校は、将来の進路や職業について学ぶ機会を積極的に設けている。
16. 学校は、進路に関して、家庭への情報提供に努めている。
17. 学校は、生徒に基本的な生活習慣や学習習慣が身に付くように指導している。
18. 学校は、地域とのつながりを大切に、地域と連携した取り組み等を積極的に実施している。
19. 学校は、校内美化や学習環境の整備、清掃指導に努めている。
20. 学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている。